



---

## JFT/SaaS マニュアル

状況画面マニュアル

第 1.0 版  
2012/01/10

株式会社 TOKAI コミュニケーションズ

---



## 目次

---

1. はじめに.....	3
1.1. WEBブラウザ.....	3
1.2. その他の要件.....	3
2. ログイン/メニュー.....	4
2.1. ログイン画面.....	4
2.2. メニュー.....	6
3. 受信ボックス.....	7
4. 送信ボックス.....	9
5. 処理確認.....	11
6. ユーザ設定.....	14
7. 共通エラー画面.....	16

## 変更履歴

---

版	年月日	変更	変更内容
0.9	2011/10/01		初版発行
1.0	2012/01/10		第 1.0 版発行

## 1. はじめに

JFT/SaaS サービスでは、インターネットでデータ交換の状況を確認することができます。  
状況確認を行うためには、Web ブラウザで JFT/SaaS サービスへ接続します。

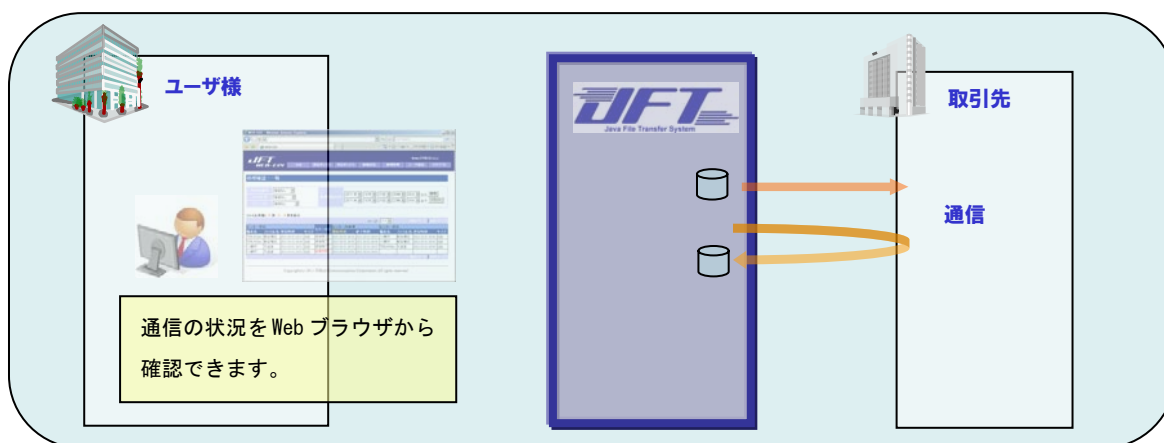


図 1-1 状況確認

### 1.1. Web ブラウザ

対応するブラウザは以下のとおりです。

- Internet Explorer 6/7/8
- Mozilla Firefox 2.0/3.6/4.0/5.0

※ Web ブラウザは下記の設定を行う必要があります。

- Cookieを有効にする。
- JavaScriptを有効にする。

### 1.2. その他の要件

- 処理確認画面は上記Webブラウザ以外に必要となるその他要件は特にありません。

## 2. ログイン／メニュー

状況画面を利用するには、ログインが必要となります。

### 2.1. ログイン画面

#### (1) ログイン画面／概要

状況画面のログイン画面では、ユーザ ID とパスワードを入力した後、「送信」ボタンをクリックすることでログインすることができます。ログインに成功すると、TOP 画面が表示されます。「リセット」ボタンをクリックすると、入力内容がキャンセルされます。



図 2.1-1 ログイン画面

#### (2) ログイン画面／ユーザ ID の保存

「ユーザ ID の保存」をチェックしてログインすることで、ユーザ ID を Cookie に保存することができます。

ログインに成功すると、ユーザ ID が保存されます。ユーザ ID を保存すると、次回からは保存されたユーザ ID が表示され、入力する必要がありません。ただし、パスワードは毎回入力する必要があります。「ユーザ ID の保存」のチェックを外してログインすると、前回保存したユーザ ID が削除されます。



図 2.1-2 ログイン画面(ユーザIDの保存)

## (3) ログイン画面／モード:標準||セキュア(SSL)

セキュア(SSL)モードを使用すると、送信するデータが暗号化されるので、プライバシーにかかわる情報を第三者に見られずにやり取りをすることができます。

標準モードのとき「セキュア(SSL)」をクリックすると、セキュア(SSL)モードに切り替わります。セキュア(SSL)モードのとき「標準」をクリックすると、標準モードに切り替わります。



図 2.1-3 ログイン画面(モード:標準||セキュア(SSL))

## 2.2. メニュー

### (1) メニュー／概要

正常にログインされると、下のような TOP 画面が表示されます。

画面上部がメニューとなり、右上にはログインユーザ名と端末名称が表示されます。



図 2.2-1 メニュー

メニューには以下の項目があります。

表 2.2-1 メニューの説明

NO	メニュー	説明
1	TOP	TOP 画面(ログイン時は表示中)に遷移します。
2	受信ボックス	JFT/SaaS が行った配信の確認画面に遷移します。
3	送信ボックス	JFT/SaaS が行った集信の確認画面に遷移します。
4	処理確認	処理確認画面に遷移します。
5	ユーザ設定	ユーザ情報設定画面に遷移します。
6	ログアウト	ログアウトします。

### 3. 受信ボックス

受信ボックス画面は、JFT/SaaS が行った配信の状況確認を行う画面です。

#### (1) 受信ボックス画面／概要

状況画面へログインしたユーザに紐付いた接続先の、配信の状況が一覧表示されます。



図 3-1 受信ボックス画面

受信ボックスでは、以下の項目で配信状況を確認することができます。

表 3-1 配信状況の項目

NO	項目	説明
1	ファイル名	運用ファイル名称です。
2	レコード件数	レコードの件数です。
3	サイズ	ファイルのバイト数(単位は KB で、1KB 未満は切り上げて表示)です。
4	登録日時	配信登録された日時です。
5	受信日時	配信完了した日時です。
6	ステータス	ファイルのステータス(以下に詳細を示す)です。

ファイルステータス、および、その状態は以下となります。

表 3-2 ファイルステータスと状態

NO	ステータス	状態
1	配信待ち	端末起動配信で通信相手先からの接続を待っている状態です。
2	時刻待ち	センタ起動配信で通信可能な状況になるのを待っている状態です。
3	通信中	配信中の状態です。
4	配信完了	配信が正常に完了した状態です。
5	リトライ待ち	センタ起動配信が失敗し、リトライを待っている状態です。
6	リトライ失敗	センタ起動配信が失敗し、これ以上リトライを行わない状態です。
7	配信失敗	端末起動配信に失敗した状態です。

※リトライ待ち、リトライ失敗、配信失敗は、クリックするとエラー詳細(通信のエラー)が表示されます。

(2) 受信ボックス画面／フォルダ

表 3-3 フォルダ

NO	項目	状態
1	一覧	「一覧」をクリックすると、全業務の一覧が表示されます。
2	業務別一覧	「業務別一覧」をクリックすると、ツリー上に配信業務の一覧が表示されます。 業務名をクリックすると、その業務のファイルが表示されます。
3	ごみ箱	ごみ箱の一覧が表示されます。 センタ起動配信がリトライ失敗となった場合、ファイルは削除され、ごみ箱へ移動します。



図 3-2 受信ボックス画面(フォルダ)

(3) 受信ボックス画面／検索・ソート・ページ移動

表 3-4 検索・ソート・ページ移動

NO	項目	状態
1	検索	検索はファイル名、ステータス、受信完了日時を条件指定して一覧を表示する機能です。
2	ソート	ファイル一覧の項目名をクリックすると、その項目で昇順にソートされます。昇順でソートされている項目名をもう一度クリックすると、降順でソートされます。デフォルトのソート項目は登録日時です。
3	ページ移動	表示件数以上にファイルがある場合は、「ページ」のセレクトボックスや、「前ページ」、「次ページ」にてページ移動できます。



図 3-3 受信ボックス画面(検索・ソート・ページ移動)

## 4. 送信ボックス

送信ボックス画面は、JFT/SaaS が行った集信の状況確認を行う画面です。

### (1) 送信ボックス画面／概要

状況画面へログインしたユーザに紐付いた接続先の、集信の状況が一覧表示されます。



図 4-1 送信ボックス画面

送信ボックスでは、以下の項目で集信状況を確認することができます。

表 4-1 集信状況の項目

NO	項目	説明
1	ファイル名	運用ファイル名称です。
2	レコード件数	レコードの件数です。
3	サイズ	ファイルのバイト数(単位は KB で、1KB 未満は切り上げて表示)です。
4	送信日時	集信完了した日時です。
5	ステータス	ファイルのステータス(以下に詳細を示す)です。

ファイルステータス、および、その状態は以下となります。

表 4-2 ファイルステータスと状態

NO	ステータス	状態
1	時刻待ち	センタ起動集信で通信可能な状況になるのを待っている状態です。
2	通信中	集信中の状態です。
3	集信完了	集信が正常に完了した状態です。
4	リトライ待ち	センタ起動集信が失敗し、リトライを待っている状態です。
5	リトライ失敗	センタ起動集信が失敗し、これ以上リトライを行わない状態です。
6	集信失敗	端末起動集信に失敗した状態です。
7	転送失敗	集信は正常に完了したが、その後の処理に失敗した状態です。

※リトライ待ち、リトライ失敗、配信失敗、転送失敗は、クリックするとエラー詳細(通信のエラー)が表示されます。

(2) 送信ボックス画面／フォルダ

表 4-3 フォルダ

NO	項目	状態
1	一覧	「一覧」をクリックすると、全業務の一覧が表示されます。
2	業務別一覧	「業務別一覧」をクリックすると、ツリー上に集信業務の一覧が表示されます。 業務名をクリックすると、その業務のファイルが表示されます。
3	ごみ箱	ごみ箱の一覧が表示されます。 センタ起動集信がリトライ失敗となった場合、ファイルは削除され、ごみ箱へ移動します。

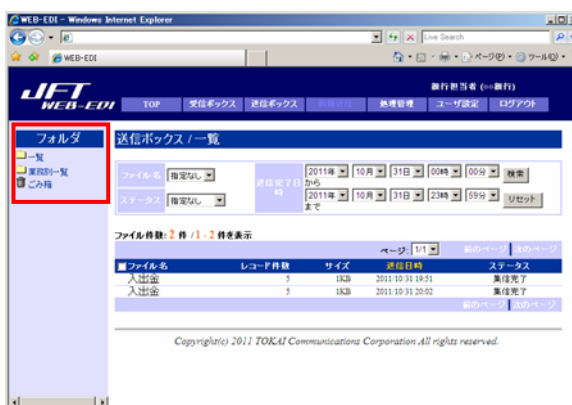


図 4-2 送信ボックス画面(フォルダ)

(3) 送信ボックス画面／検索・ソート・ページ移動

表 4-4 検索・ソート・ページ移動

NO	項目	状態
1	検索	検索はファイル名、ステータス、受信完了日時を条件指定して一覧を表示する機能です。
2	ソート	ファイル一覧の項目名をクリックすると、その項目で昇順にソートされます。昇順でソートされている項目名をもう一度クリックすると、降順でソートされます。デフォルトのソート項目は登録日時です。
3	ページ移動	表示件数以上にファイルがある場合は、「ページ」のセレクトボックスや、「前ページ」、「次ページ」にてページ移動できます。

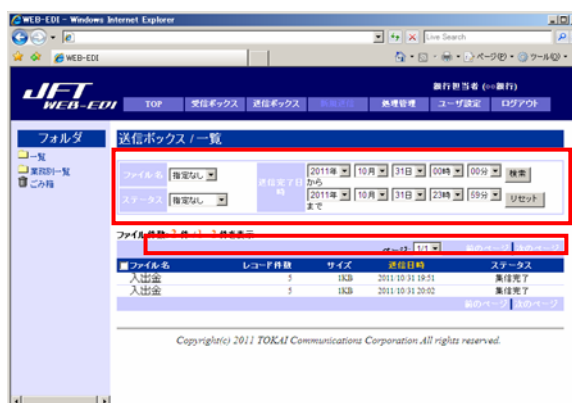


図 4-3 送信ボックス画面(検索・ソート・ページ移動)

## 5. 処理確認

処理確認画面では、EDI 交換の状況を確認することができます。

### (1) 処理確認画面／概要

ログインしたユーザに紐付く処理管理状況を一覧表示します。サービスが受信したファイルが業務処理中かどうか、送信先の端末が集配信したかどうかなどを確認することが出来ます。



図 5-1 処理確認画面

処理確認では、以下の項目で集配信状況を確認することができます。

表 5-1 処理管理状況の項目

NO	項目	説明
1	受信元端末名	JFT/SaaS が集信した端末の名称です。
2	受信ファイル名	JFT/SaaS が集信したファイルの名称です。
3	受信日時	JFT/SaaS がファイルを集信した日時です。
4	受信サイズ	集信したファイルのバイト数(単位は KB で、1KB 未満は切り上げて表示)です。
5	ステータス	ファイルのステータス(以下に詳細を示す)です。
6	処理開始日時	JFT/SaaS でフォーマット変換等のデータ管理処理を開始した日時です。
7	処理終了日時	JFT/SaaS でフォーマット変換等のデータ管理処理を終了した日時です。
8	送信先端末名	JFT/SaaS が配信する端末の名称です。
9	送信ファイル名	JFT/SaaS が配信するファイルの名称です。
10	送信日時	JFT/SaaS がファイルを配信した日時です。
11	送信サイズ	配信したファイルのバイト数(単位は KB で、1KB 未満は切り上げて表示)です。

ファイルステータス、および、その状態は以下となります。

表 5-2 ファイルステータスと状態

NO	ステータス	状態
1	受信完了	集信が完了し、フォーマット変換等のデータ管理処理開始前の状態です。
2	処理開始	JFT/SaaS サービス内のフォーマット変換等のデータ管理処理を開始した状態です。
3	処理終了	JFT/SaaS サービス内のフォーマット変換等のデータ管理処理を終了した状態です。
4	処理失敗	JFT/SaaS サービス内のフォーマット変換等のデータ管理処理に失敗した状態です。
5	送信待ち	配信の準備が完了した状態です。
6	送信完了	配信が完了した状態です。
7	送信失敗	配信に失敗した状態です。
8	削除	リトライ失敗によりファイルが削除された状態です。

※処理失敗、送信失敗、削除は、クリックするとエラー詳細(通信のエラー)が表示されます。

(2) 処理確認画面/検索・ソート・ページ移動

表 5-3 検索・ソート・ページ移動

NO	項目	状態
1	検索	検索は端末名、ファイル名、ステータス、処理開始日時を条件指定して一覧を表示する機能です。
2	ソート	処理管理一覧の項目名をクリックすると、その項目で昇順にソートされます。昇順でソートされている項目名をもう一度クリックすると、降順でソートされます。デフォルトのソート項目は処理開始日時です。
3	ページ移動	表示件数以上にファイルがある場合は、「ページ」のセレクトボックスや、「前ページ」、「次ページ」にてページ移動できます。



図 5-2 処理確認画面(検索・ソート・ページ移動)

## (3) 処理確認画面／処理詳細状況

ステータスが処理失敗の場合、そのステータスをクリックするとステータスの詳細が表示されます。  
ここで表示されるステータス詳細の値は、サービス内の業務処理で設定された値です。

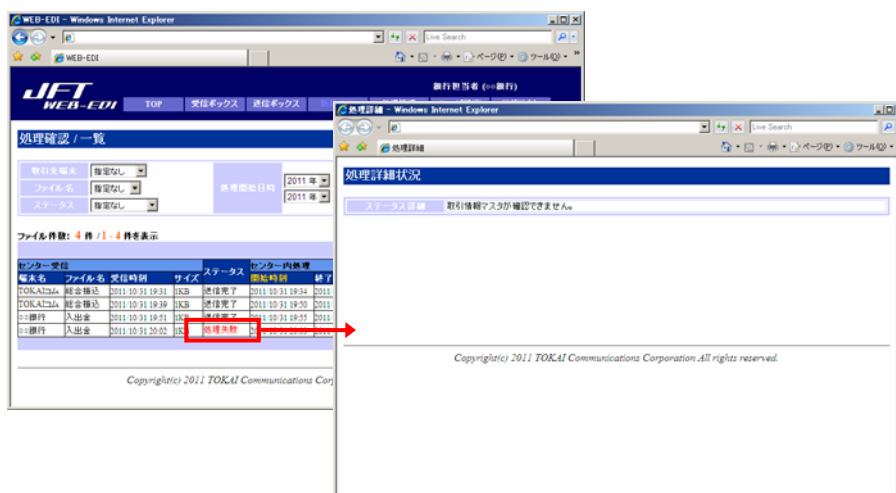


図 5-3 処理確認画面(処理詳細状況)

## 6. ユーザ設定

ユーザ設定画面よりパスワードの変更ができます。

### (1) ユーザ情報設定画面／概要

ユーザ情報設定画面では、ユーザ情報(ユーザ名、パスワード、最大表示件数)を変更することができます。変更したい項目に入力して「設定」ボタンをクリックしてください。「リセット」をクリックすると、入力内容がキャンセルされます。



図 6-1 ユーザ情報設定画面

### (2) ユーザ情報設定画面／ユーザ名の変更

「ユーザ名」に現在のユーザ名が表示されます。変更する場合は、現在のユーザ名を削除して新しいユーザ名を入力し「設定」をクリックしてください。ユーザ名は 32 バイトまでです。シングルコーテーション(') は入力できません。

※ ユーザ名の変更にはパスワードを入力する必要はありません。



図 6-2 ユーザ情報設定画面(ユーザ名変更)

## (3) ユーザ情報設定画面／パスワードの変更

パスワードを変更するときは「旧パスワード」に現在のパスワードを入力してください。

「新パスワード」に新しく設定したいパスワードを入力してください。確認のため「新パスワード(確認)」にも同じパスワードを入力してください。3 つとも入力したら、「設定」をクリックしてください。パスワードは 16 バイトまでです。半角英数字、スペース以外は入力できません。

図 6-3 ユーザ情報設定画面(パスワード変更)

## (4) ユーザ情報設定画面／最大表示件数の変更

最大表示件数とは、送受信ボックスの一覧で 1 ページに表示する件数です。

「最大表示件数」に現在の最大表示件数(デフォルト 20 件)が表示されます。変更する場合は、10・20・30・50・100 の中から選択して[設定]をクリックしてください。

※ 最大表示件数の変更にはパスワードを入力する必要はありません。

図 6-4 ユーザ情報設定画面(最大表示件数の設定)

## 7. 共通エラー画面

---

処理確認画面が表示するエラーを以下に示す。

(1) セッションタイムアウト

次のような画面が出た場合は、セッションがタイムアウトしているため、再度ログインをしてください。

※ セッションタイムアウト値は、30 分となっています。



図 7-1 セッションタイムアウト画面

Copyright © 2011-2012 TOKAI Communications Corporation All Rights Reserved.

本書およびその中に記載されているソフトウェアはライセンスの所有者に対してのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用または複製することが許されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。本書中の技術的あるいは校正上の誤りや不正確な記述に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる責任、債務は負いかねますのでご了承下さい。

JFT は株式会社 TOKAI コミュニケーションズの登録商標です。JFT は株式会社 TOKAI コミュニケーションズの著作物であり、JFT にかかる著作権、その他の権利は株式会社 TOKAI コミュニケーションズおよび各権利者に帰属します。Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。